

平成31年度 全国学力・学習状況調査結果(自校採点)について

1. 各教科の分析と対策

(1) 国語

【成果】 「知識」に関する問題の正答率が高い。

【課題】 ▲「読むこと」の領域に課題

- ・ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分の考えを持つこと

▲「書くこと」の領域に課題

- ・ 伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くこと

【身につけさせたい力】

- 説明や評論などの文章を読み、内容や表現について自分の考えを述べる
- 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書く

【国語の対策】

- ① 読書活動を奨励し、様々な文章にふれる機会をより多く設定する。
- ② 読んだ文章について、要約したり、内容や表現について自分の考えを発表する場面を設定する。
- ③ 書く能力を高める取組
 - ・ 形式や型を決めて書かせる。
 - ・ 「〇〇字作文」など、文字数を決めて書かせる。
 - ・ 書く機会を多く設定し、慣れさせる。

(2) 数学

【成果】 すべての領域において基本的な技能や知識・理解を問う問題の正答率が高い。

【課題】 ▲「数と式」の領域に課題

- ・ 代入法を利用した連立二元一次方程式を解くこと

▲「関数」の領域に課題

- ・ 反比例の表から、 x と y の関係を式に表すこと
- ・ グラフ上の座標を、事象に即して解釈し、説明すること

【身につけさせたい力】

- 連立二元一次方程式の性質を理解し、適切な解法で解くことができる。
- 関数についての知識・理解を高め、式・グラフ・表といった観点からより深く性質を理解する。
- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。

【数学の対策】

- ① 数学的な見方や考え方を伸ばす授業実践
 - ・ 多様な考え方が引き出せる題材を工夫する。
 - ・ 既習事項をもとに、根拠を示しながら説明する場面を設定する。
- ② 「活用する」能力を高める授業実践
 - ・ 単元において、「活用問題」に取り組む授業を配置する。

(3) 英語

【成果】 「聞くこと」「読むこと」「話すこと」の領域の問題の正答率が高い。

【課題】 ▲「書くこと」の領域に課題

【身につけさせたい力】

- 文の中で適切に接続詞を用いることができる。
- 一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文・否定文を正確に書くことができる。
- 与えられた情報やテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる。

【英語の対策】

- ①表現・文法・言語の働きなどの知識をしっかりと身につける。
- ②情報や考えなどを理解し、それらを整理・統合して英語で表現する力を養う。
- ③文のつながりなどに注意し、文を生成する問題に多く取り組む。



全教科を通して授業改善のポイント

- ①統一した授業改善(主体的・対話的で深い学び) 課題提示→解決(話し合い活動)→まとめ
- ②一人一人に応じた授業の展開
(発展的・補充的な学習など授業の指導方法の工夫・改善)
- ③興味・関心、知的好奇心、有用感がわく教材の工夫
- ④話す・書く活動→条件を設定して(語句や文字数)、考えや感想をまとめて
- ⑤課題と向き合う効果的な家庭学習の指導(とてっぼタイムによる学びの連続性)